



▲「解説をしてもらうとよくわかるね」

まちづくり上中山地区会議では、旧上中山保育所を地区のまちづくりの拠点とする計画を進めしており、地域住民が気軽に集える場として、さまざまな活動グループに利用してもらい、地域活性化に取り組んでいます。

11月15日（木）には、「なかやま女性会議」主催で伯耆の白兎伝説にまつわる史跡を巡る「第1回 上中山を再発見する集い」が催されました。地元の歴史に詳しい秋田俊治さん（東積）の解説で、参加者は白兎の腰掛岩や鷺ノ宮神社跡地などを見学しました。散策後は、旧上中山保育所で、読みがたりボランティア「麦の会」による『伯耆の白兎』の音読会を

まちづくり上中山地区会議では、旧上中山保育所を地区のまちづくりの拠点とする計画を進めしており、地域住民が気軽に集える場として、さまざまな活動グループに利用してもらい、地域活性化に取り組んでいます。

上中山地区 まちづくりの拠点 「学びの里甲川」 オーフン

楽しみ、見学した史跡を振りかえりながら地元の伝説に思いを馳せていました。

最後は、全員で『ふるさと』を合唱して、上中山地区交流拠点の開所を祝いました。今後も地元の歴史文化を掘り起こし、再発見していく行事を展開し、まちづくりに取り組むことが計画されています。

また、12月1日（土）には「第1回上中山まちづくりの集い」が開かれました。集いには、地区会議が進める旧保育所の交流拠点化に賛同する方が集い、施設名称、管理運営及び利用規約が定められました。名称は、多数の応募作品との集いに参加された皆さんの中から、「学びの里 甲川」と名づけられました。

今後は、この施設を拠点に上中山地区のまちづくりが展開されます。皆さんのご参加ご協力をよろしくお願ひいたします。

ホッとお鍋で、和やかに 「大山秋の食婚」

10月24日（土）、JA鳥取西部青壯年部 中山支部・名和支部主催で、町内で農業を営む独身男性と農業に興味を持つ町内外の独身女性を対象に、農業体験と鍋パーティーで男女の交流を深める「大山 秋の食婚」と題した婚活イベントが開催されました。

参加者は、総勢20人。和気あいあいの雰囲気で農作業をし、また、農業体験後の鍋パーティーでは、大山町で採れた食材を使った温かい鍋を囲みながら、気になる相手の連絡先を交換するなど、それぞれ活発な交流が行われました。



▲明間集落

▲種原自治会

一般コミュニティ助成事業 「除雪機」を導入しました！



種原自治会と明間集落で除雪機が導入されました。これは、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、財団法人自治総合センターが行う「一般コミュニティ助成事業」が活用されました。

両集落ともに12月の積雪時には、今回購入の除雪機が大活躍しました。「早くオペレーター技術を上げて効率よく活用したい」など集落内の除雪に向けた出動態勢を整えおられました。

